

平成22年度「新横浜公園環境イベント支援事業」の議事（概要）と審査結果を公表します。

1 審査会開催日

日時：平成22年3月17日（水）午前10時から

場所：日産スタジアム内会議室

2 審査方法

審査委員5名による書面審査により実施しました。

- ・審査項目は20項目。各項目5段階評価で該当なし（0点）も可。
- ・各委員の評価点（100点/人）を集計し、総得点（500点）が6割（300点）以上で採用となります。
- ・継続と認められた案件については評点しません。

（理由）平成20年度審査会において、同じもの（継続案件）を2度も評点することはない、との意見があり全委員が了承。今回もその先例に倣ったものです。

3 審査会における応募案への評価及び主な意見、要望

①「バタフライガーデン」

総得点：継続案件と認め評点はしません。

付帯条件はありませんでした。

意見ではありませんが、バタフライガーデン実現に向けて頑張りたいとの激励の言葉がありました。

②「地域の伝統文化を体験し、自然を学ぶ会」

総得点：上記案件と同じ。

付帯条件はありませんでした。

意見ではありませんが「伝統文化は地域の宝です、多くの人に広める活動にしてください」との激励の言葉がありました。

③「新横浜公園にさくらそうの水辺をつくろうプロジェクト」

総得点：上記案件と同じ。

付帯条件はありませんでした。

サクラソウは自然を知るためのとてもよい教材だと思うので環境教育の視点をもっと入れて欲しい。との要望がありました。

④「新横浜公園へイケボタルの里づくり」

総得点：上記案件と同じ。

付帯条件はありませんでした。

「去年は残念でしたが、今年はイケボタルの飛翔を期待しています」との激励の言葉が委員全員からありました。

⑤「飛んで来い トキプロジェクト」

総得点：365点

「実施計画の立案」が付帯条件となりました。

発想、スローガンについては賞賛の声が多くありましたが、具体策の実現性について懸念する意見があり、条件付となりました。

「飛んで来るのを待つ、飛んできた時のための準備をしておく」との発想はこれまでの自然保護の考えにはあまり見られない斬新なものだが、荒唐無稽とも思われる面もあるので詰めを間違えないようにとのアドバイスがありました。

4 審査結果

5案件とも採用となりました。

その内の新規1件には付帯条件がつけました。

以上